

語り合う

生命誌の広場

中村桂子の
ちょっと一言

ラボ日記

表現スタッフ日記

さまざまな交流

生命誌のこれからを
考える

生命誌の広場

テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」▶
- 研究について▶
- 季刊「生命誌」▶
- 展示・映像▶
- その他▶

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

最新のお返事

- 2019年10月02日
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日
[原爆について](#)
- 2019年09月05日
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日
[この夏一番元気だったものは？](#)

最新のご意見

- 2019年09月27日
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日
[原爆について](#)
- 2019年09月05日
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日
[この夏一番元気だったものは？](#)

過去の書き込み

2019年 10月
GO

みなさんからのご意見

季刊「生命誌」

生命誌の樹 脊椎動物完成

投稿日：2017.10.15 ニックネーム：モトイケ

紙工作第3回脊椎動物が完成しました。第1回から第3回目まで並べてみると、カンブリア大爆発で動植物が一斉に現れたのが良くわかります。作ってみて立体的に眺めることで、よく理解できることが分かりました。途中で間違えて組みなおしたこともたびたびでしたが、完成すると疲れも吹っ飛んで爽快な気持ちになりました。ありがとうございました。

お返事

投稿日：2017.10.17 名前：中村桂子館長

紙工作についての「作るのちょっと大変ですができ上がったものからいろいろなことが見えてくる喜びがその大変さに勝る」というメッセージ。私たちが願ったことをそのまま受け止めて下さっているのも嬉しくなりました。ゲノム解析が進み生命誌が具体的な形で見えてきていることがとてもよくわかります。データを集め具体像を作る中心作業をしている平川は時々悲鳴をあげていますがBRHでなければできないものをつくる気持ちで続けています。最後まで楽しみにして下さい。

中村桂子の「ちょっと一言」

「中村桂子館長のちょっと一言」に寄せての感想

投稿日：2017.10.03 ニックネーム：相模のラクダ

貴館にはいつも お世話になっており、最先端の「生命誌」を学ばせていただき、感謝致しております。10/2の中村館長様の「科学が社会の役に立つこと」を拝読し、感じたことを述べたいと思います。

◆まず、おっしゃる通り、「ゲノム」は世界の人々、平等に持っているもので、アメリカの有名な「雑誌」の表紙を飾る「時の富豪」の方も、また、「アフリカの奥地」のユニセフの救援が必要な「貧困で飢えた子供たち」にも平等にあるはずのものです。なのに、世界人類は、平等性に向け、各地で紛争、内戦、都市でも大事件が起き、「格差社会」が存在し、平等で平和な社会とは言えません。◆日本は、ある近国の、科学の結晶である：ミサイルに危機感と恐怖をいただき、困っています。◆今年も「ノーベル賞」の発表が始まりましたが、ゲノムは世界の人 皆の共有の根源であり「格差社会」を修正し、科学は本当は、「ノーベルの意思」の様に「世界平和」：社会の役に立つために使ってほしい。と、館長と同じ意見を感じています。貴館の益々のご発展を祈ります。世界が平和であります様に！

お返事

投稿日：2017.10.03 名前：中村桂子館長

ゲノムは、一人一人がかけがえのない存在であるという独自性と、皆基本は同じという共通性を示すものなのですが、格差に利用されてしまう危険もっています。社会が格差の方向にあるとそうなるわけで、ゲノムの側から基本を発信することが大事ですね。

新着情報



[10月19日生命誌オープンラボ](#)
(19.10.01)

[10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会](#)
(19.10.01)

[昆虫脳の標本展示が登場！](#)
(19.10.01)

[パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始](#)
(19.10.01)

[あくあびあ芥川とスタンプラリー開催](#)
(19.10.01)



その他

ありがとうございます。

投稿日：2017.10.02 名前：橋本 圭隆

生命誌研究所のみなさん。お元気でしょうか。これから一段と寒くなります。皆さま、充分ご自愛ください。

お返事

投稿日：2017.10.06 名前：表現を通して生きものを考えるセクター 川名

橋本さま

いつも生命誌研究館を応援いただきありがとうございます。
生命誌研究館の前の桜並木の葉も紅が目立つようになってきました。
今は次号季刊誌のカードづくりの真っ只中、みんな元気にはたらいています。

[▲ ページの先頭へ](#)

[サイトのご利用について](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#) | [リンクポリシー](#) | [サイトマップ](#)



JT生命誌研究館
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 TEL:072-681-9750 (代) FAX:072-681-9743

copyright © JT Biohistory Research Hall 2012.